



NEWS 国際ソロプチミスト佐賀フレンズ様から
ご寄附をいただきました

5月12日(月)、国際ソロプチミスト佐賀フレンズ会長 森 聡子様より、結成25周年の記念事業として、市内児童の健全育成にお役立ていただきたいとご寄附をいただきました。

今回いただいた寄附を有効に活用し、子どもたちの健やかな成長を支えるための取り組みを進めてまいります。

国際ソロプチミスト佐賀フレンズ様、誠にありがとうございました。



NEWS 武雄ライオンズクラブ様から
ご寄附をいただきました

5月8日(木)、武雄ライオンズクラブ会長 久保 正行様より、市内の子どもたちが安心して生活が送れるようにと生理用品のご寄附をいただきました。

この活動は、令和5年度から継続事業として実施されています。久保様は「子どもたちへの支援の一助となればとの考えで、生理用品を寄附しました」と思いを語られ、小松市長からは「寄附いただいた生理用品を活用し、武雄の子どもたちが安心できる環境を引き続き作っていききたい」と感謝状が贈られました。

市では、令和4年度より「武雄市内小中学校における生理用品配置事業」を実施しており、今回いただいた生理用品を活用いたします。

武雄ライオンズクラブ様、誠にありがとうございました。



NEWS 令和7年度きゅうりトレーニングファーム研修生
入校式が執り行われました

4月15日(火)、嬉野市中央公民館において、きゅうりトレーニングファーム研修生の入校式が執り行われました。

きゅうりトレーニングファームとは、きゅうり栽培を実践的に2年間研修する施設で、朝日町黒尾地区にあります。

今年は3名が入校され、うち2名が武雄市内での就農を予定されています。

山崎副市長は「就農後の自身の経営を常に考えながら研修に励み、就農後も互いに勉強し合えるような関係を築いてください」と激励の言葉を送りました。

入校された皆さん、好成績を収める農家になれるよう、精一杯頑張ってください！



NEWS 焼米ため池の治水利用に関する協定書の
調印式が執り行われました

5月2日(金)、焼米ため池の事前放流施設の整備が全て完成したことに伴い、市と白石土地改良区により、操作や管理の方法などを取り決める協定書の調印式が執り行われました。

焼米ため池は、北方町にある白石土地改良区が所有・管理する農業用ため池です。

ため池周辺の下流域では、令和元年・3年の豪雨により、甚大な浸水被害が発生しました。このことから焼米ため池の治水利用について、白石土地改良区よりご理解をいただき、20万m³の貯水ポケットが確保されるとともに、佐賀県の内水対策プロジェクトでは、事前放流施設の整備が進められました。

今後はこの協定に基づく事前放流により、浸水被害の軽減が期待されます。